

1963

五十年の礎から
輝く未来への飛翔



創立50周年記念事業

募金趣意書

2013

ご挨拶

八戸工業高等専門学校長
八戸工業高等専門学校創立50周年記念事業委員会会長

岡田 益男



八戸工業高等専門学校創立50周年記念事業委員会委員長

大久保 恵



本校は昭和38年4月に国立高等専門学校の第2期校として設置され、平成25年には創立50周年を迎えることになりました。当初は、機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足しましたが、その後、産業界からの新たな分野や多様な人材養成に応え、昭和43年に土木工学科が設置されております。この間、幾度かの学科改組や名称変更を行い、現在では、機械工学科、電気情報工学科、物質工学科、建設環境工学科の4学科体制となっております。平成14年には、より高度な専門技術者の育成のために、専攻科（機械・電気システム工学専攻、物質工学専攻、建設環境工学専攻）が設置され、高等教育機関としてより充実した教育体制となっております。

本校から輩出しました平成25年3月までの卒業生は6,371名、修了生は205名となり、専門技術者や研究者、企業経営者として、国内外の広範な分野において第一線での活躍が認められ、産業界、学术界から高く評価されております。これもひとえに、卒業生諸氏の活躍の実績の賜物であり、あらためて卒業生諸氏に感謝申し上げます。

近年、高専教育の目的は、従来の「中堅技術者の育成」から、社会や産業構造の変化に対応すべく「実践的・創造的技術者の育成」へと変化しております。

創立50周年を迎えるに際し、これまで培われてきた本校の輝かしい伝統や歴史等を礎として、新しいグローバル時代に活躍できる国際的・実践的・創造的技術者育成に向けて、創立50周年記念事業委員会を組織し、次のような事業を計画・推進することになりました。

- (1) 創立50周年記念式典・講演会等の開催
- (2) 創立50周年記念講義室の整備
- (3) 創立50周年記念誌の刊行
- (4) 八戸高専ブランドの構築
- (5) 学生支援基金等の整備・充実
- (6) 学生歌の制定
- (7) 功労者の顕彰
- (8) 卒業生ネットワークの構築
- (9) 創立50周年記念プレイベントの開催

これらの記念事業遂行のため、協賛金を募らせていただきたく存じます。厳しい経済状況下ですが、何卒この趣旨にご賛同頂き、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓生の皆様を初め、関係各位のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

謹言

平成25年4月吉日

八戸高専創立50周年を前に ～卒業生のみなさまへ～

八戸工業高等専門学校同窓会会長

山本 修

八戸高専は、平成25年に「創立50周年」を迎えることになりました。この間に卒業生も6,000名を超え、数多くの同窓生が社会の第一線で活躍されています。

この節目を迎えるにあたり、八戸高専創立50周年記念事業を行うことになり、私を初め多くの同窓生、学校関係者に発起人となって頂きありがとうございます。50周年記念事業は、後輩諸君が勉学に励んでいただく環境作りとして、記念講義室の整備を中心とした事業を展開していくことに

なりました。

この50周年記念事業は、同窓生初め、在校生、学校関係者、企業などの数多くの皆さまのご寄附で賄われることになっております。

皆さまにご寄附をお願いすることは恐縮に存じますが、何卒ご理解の上、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

八戸高専創立50周年を迎えて ～保護者のみなさまへ～

八戸工業高等専門学校後援会会長

竹林 政人

八戸工業高等専門学校は、実践的技術者養成を目的とした教育機関として国立高専2期目となる昭和38年に創設され平成25年に創立50周年の大きな節目を迎えます。

これまで八戸高専は数多くの技術者を青森県内をはじめ国内外へと輩出してきました。そして、国際社会の様々な分野で幅広く活躍し産業へ多大なる貢献をしています。

その歴史を振り返る意味でも創立50周年記念事業を盛大に催し、次の50年への懸け橋としてぜひ成功させる必

要があります。

私ども後援会におきましても八戸高専の更なる発展と学生の活躍を祈念し、創立50周年記念事業へ全面的に支援、協力をしていきたいと考えています。

近年、経済的には非常に厳しい状況にはありますが、関係者の皆さまには記念事業の趣旨にご賛同いただき募金とともに様々なご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

八戸高専創立50周年を祝して ～地域のみなさまへ～

八戸工業高等専門学校産業技術振興会会長

福島 哲男

八戸工業高等専門学校は、平成25年に創立50周年を迎えます。

当初、昭和37年度設置校と計画されてスタートする予定でありました。青森市と八戸市とで激しい誘致合戦を行い、なかなか決着がつかず設置が1年遅くなった経緯があります。それほど待望されていた理工系高等教育機関でした。

以来、50年。これまでに、機械、電気、化学、建設系の各学科から6,000名を超える卒業生を輩出し、青森県内はもとより日本国中、さらには世界各国で活躍しております。

八戸高専には4つの学習・教育目標がありますが、そのひとつが『地域社会への貢献』です。その中では2つの項目を掲げています。

- ・協調性を発揮し、技術を創造・開発またはシステム化できるデザイン能力とものづくり能力を修得する。
- ・北東北の重点課題であるエネルギー、環境の問題に関心を持ち、それらの課題に積極的に取り組む進取の姿勢を身につける。

このような理念で育てられた卒業生たちがいま青森県内の企業を支えています。県内の企業にとってなくてはならない存在です。

八戸高専の後援組織である産業技術振興会といたしましても50周年記念事業を機に今後ますます学校と地域、企業との連携を深め、青森県の産業界の発展を期するものがあります。どうか皆さま、学校の発展のため、地域発展のために50周年記念事業への絶大なるご支援をお願いいたします。

創立50周年記念事業の概要

① 創立50周年記念式典・講演会等の開催

平成25年11月4日に創立50周年記念式典及び記念講演会、祝賀会を予定しております。ご来賓、同窓生及び関係者の方々にご列席いただき、在校生・教職員とともに創立50周年をお祝いしたいと考えています。

② 創立50周年記念講義室の整備

基礎を固め、異分野にも対応した新カリキュラムの実施、国際化や地域貢献の活性化、メンター制の実施など多様な活動が増え、複数クラス混成授業、特別講義、講演会、メンター実施などの会場の確保が課題となっています。そこで現在中庭にある旧製図室を大幅改修し、多目的に使える100人収容の記念講義室として整備します。

③ 創立50周年記念誌の刊行

本校は平成25年度に創立50周年を迎え、半世紀の歴史を刻むことになります。記念事業の一環として、「50年の礎から輝く未来への飛翔」を主テーマに掲げた記念誌を刊行します。

④ 八戸高専ブランドの構築

「50年の礎から輝く未来への飛翔」をイメージするロゴデザインが決まり、本校のブランドマークとして広報などに活用します。また好評の本校ブランド酒「田面乃香」をバージョンアップし、構内の桜から採取した酵母による新ブランド酒の開発を支援します。

⑤ 学生支援基金等の整備・充実

創造性と開発力を兼ね備えた実践的技術者の育成を強化するため、学生支援ファンドの充実と新任教員スタートアップ研究支援のため基金を整備します。

⑥ 学生歌の制定

気楽に歌えて学生間の絆や八戸高専への愛着を深めることができるような応援歌がほしいという声があがっています。50周年を機に格調高い校歌に加えて新時代にふさわしい八戸高専学生歌（応援歌）を制定します。

⑦ 功労者の顕彰

八戸高専の発展に貢献した方々を功労者として顕彰します。

⑧ 卒業生ネットワークの構築

社会の第一線で活躍している卒業生を招き在校生に講義していただく「田面木塾」を記念事業の一つとして充実させます。さらに勤務先毎の索引名簿等の整備を行い、卒業生とのネットワークの拡大を図ります。

⑨ 創立50周年記念イベントの開催

予定していた卒業生フォーラムについては、学生のキャリアプランづくりを支援することを目的に7月24日、本校で開催します。また、11月1日には吹奏楽部の定期演奏会を創立50周年記念コンサートとして開催します。さらに11月4日～6日には八戸ポータルミュージアム「はっち」に本校の紹介展示コーナーを設け、地域社会に情報発信します。

記念講義室



— 個人情報の取扱いについて —

ご寄附により取得しました個人情報につきましては、創立50周年記念事業に使用させていただきますとともに、本校の規則に基づき、厳正に管理いたします。

募金要項

① 募金期間 平成26年9月まで

② 募金種別 個人寄附 1口 5,000円 法人寄附 1口 20,000円

※複数口でのご協力をお願いいたします。

③ 募金の対象

- ・八戸工業高等専門学校同窓会会員
- ・八戸工業高等専門学校学年修了生
- ・八戸工業高等専門学校教職員及び元教職員(退職者を含む)
- ・八戸工業高等専門学校後援会会員
- ・篤志家及び一般の方
- ・法人等(企業・団体等)

④ 申込及び振込方法

寄附申込書を本校に送付のうえ、下記口座にお振込願います。

(寄附申込書は、本校のホームページからダウンロードできます。http://www.hachinohe-ct.ac.jp/50 th)

恐れ入りますが、振込手数料をご負担いただきますようお願いいたします。

◎ 口座名義：八戸高専創立50周年記念事業

- | | | |
|---|--|---|
| ・青森銀行 八戸支店 普通預金 3 0 6 4 5 8 6 | ・みちのく銀行 八戸駅前支店 普通預金 2 6 2 4 4 6 0 | ・青い森信用金庫 八戸駅通支店 普通預金 0 5 1 9 8 2 1 |
| ・ゆうちょ銀行 振替口座 0 2 2 9 0 - 2 - 1 2 6 8 4 4 | | ※平成26年4月1日以降取扱いなし |

振込に関するお問い合わせ先

八戸工業高等専門学校総務課財務グループ

TEL. 0178-27-7227 FAX. 0178-27-4092 E-mail. 50th@hachinohe-ct.ac.jp

⑤ 寄附行為に対する税制上の優遇措置

所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)及び法人税法上の全額損金算入が認められる寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されていますので(昭和40年大蔵省告示第154号(最終改正:平成16年3月31日財務省告示第178号))、税法上の優遇措置を受けることができます。

具体的には、次のような税制上の優遇措置が講じられます。

【寄附者が個人の場合】

・所得税

2,000円を超える部分については当該年度所得の40%を限度に当該年度からの控除を受けられます。(確定申告が必要です。)

・住民税

都道府県民税及び市区町村民税につきましては各都道府県、市町村の条例により控除を受けられる場合があります。詳しくは、住所地の市町村にお問い合わせ下さい。

【寄附者が法人の場合】

寄附金の全額を損金に算入することができます。

【寄附金控除を受けるための手続き等について】

所得税の確定申告時期に、金融機関が発行する「払込金(兼手数料)受取書」または本校が発行する「領収書」を添えて所轄の税務署に「確定申告書」を提出して下さい。

所得税の確定申告をせず、住民税の寄附金税額控除のみ受ける場合は「道府県民税・市町村民税寄附金税額控除申込書」に「払込金(兼手数料)受取書」または「領収書」を添えて住所地の市町村に提出して下さい。

⑥ 寄附者の顕彰等

個人3万円、団体10万円以上のご寄附をいただいた方には、創立50周年記念誌を贈呈するとともに記念銘板にご芳名、法人名を記載し、未永く顕彰させていただきます。また、ご寄附を賜りました方々に、記念CD-ROMを贈呈いたします。

八戸高専の沿革

| | |
|--------------|---|
| 昭和 38 年 4 月 | 機械工学科(40名)、電気工学科(40名)、工学化学科(40名)で発足 |
| 昭和 43 年 4 月 | 土木工学科(40名)を増設 第1・2学年全寮制を実施 |
| 5 月 | 十勝沖地震により校舎が被害を受け使用不能となる |
| 昭和 48 年 10 月 | 創立 10 周年記念式典を挙げる |
| 昭和 53 年 3 月 | 第2 体育館新営工事竣工 |
| 昭和 57 年 4 月 | 廃棄物・エネルギー利用教育研究センター（現、地域テクノセンター）を設置 |
| 昭和 58 年 10 月 | 創立 20 周年記念式典を挙げる |
| 平成 3 年 4 月 | 工業化学科を物質工学科に改組 |
| 平成 4 年 8 月 | 地域文化研究センターを設置 |
| 平成 5 年 4 月 | 総合情報教育センターを設置 |
| 10 月 | 創立 30 周年記念式典及び記念シンポジウムを挙げる |
| 平成 7 年 4 月 | 土木工学科を建設環境工学科に改組 |
| 平成 11 年 4 月 | 一般教科を総合科学科に名称変更 |
| 平成 14 年 4 月 | 専攻科(機械・電気システム工学専攻、物質工学専攻、建設環境工学専攻)を設置 |
| 平成 15 年 10 月 | 創立 40 周年記念式典を挙げる |
| 平成 16 年 4 月 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校へ移行 |
| 平成 17 年 4 月 | 電気工学科を電気情報工学科に改組 |
| 5 月 | 「産業システム工学」プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受ける |
| 平成 22 年 5 月 | 「産業システム工学」プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の継続認定を受ける |
| 平成 25 年 11 月 | 創立 50 周年記念式典を挙げる予定 |

発起人

八戸工業高等専門学校教職員

| | | | | |
|-----------------------|----------------------------|-------|--------|--------|
| 岡田 益 男 (校長・事業委員会会長) | 大久保 恵 (副校長・事業委員会副会長・事業委員長) | | | |
| 佃 雅 之 (事務部長・事業委員会副会長) | | | | |
| (教 授) | | | | |
| 鳴海 寛 | 平川 武彦 | 太田 徹 | 鳴海 哲雄 | 舘野 安夫 |
| 河村 信治 | 戸田山 みどり | 阿部 恵 | 赤垣 友治 | 鎌田 長幸 |
| 武尾 文雄 | 沢村 利洋 | 浦西 和夫 | 土屋 幸男 | 久慈 憲夫 |
| 工藤 隆男 | 工藤 憲昌 | 松橋 信明 | 釜谷 博行 | 佐々木 有 |
| 杉山 和夫 | 中村 重人 | 松本 克才 | 菅原 隆 | 今野 恵喜 |
| 矢口 淳一 | 南 将人 | 藤原 広和 | | |
| (准教授) | | | | |
| 高橋 要 | 細越 淳一 | 蝦名 謙一 | 馬 洩 雅生 | 馬場 秋雄 |
| 齋 麻子 | 菊池 秋夫 | 佐藤 純 | 村上 能規 | 栗原 博之 |
| 吉田 雅昭 | 村山 和裕 | 古谷 一幸 | 森 大祐 | 中村 嘉孝 |
| 野中 崇 | 菊地 康昭 | 長谷川 章 | 齊藤 貴之 | 佐藤 久美子 |
| 本間 哲雄 | 杉田 尚男 | 丸岡 晃 | 清原 雄康 | 馬渡 龍 |
| (講師・助教・助手) | | | | |
| 黒沢 忠輝 | 細川 靖 | 丹羽 隆裕 | 郭 福会 | 木村 祐人 |
| 鎌田 貴晴 | 佐々木 修平 | 山本 歩 | 川口 恵未 | 三浦 将典 |
| 金子 伸一郎 | | | | |
| (職 員) | | | | |
| 橋本 美佐子 | 三上 豊 | 上村 昌靖 | 福島 妙子 | 佐藤 猛 |
| 鳥谷部 容市 | 状守 尊也 | 橋場 真紀 | 石川 正子 | 永長 訓史 |
| 大野 速太 | 高橋 利枝 | 黒田 誠宏 | 佐藤 克彦 | 伊藤 光雄 |
| 吉田 光男 | 伊藤 光博 | 大澤 啓志 | 千葉 憲一 | 遠田 達也 |
| 赤坂 徹 | | | | |

発起人

50周年記念事業顧問

| | | | | |
|------|-------|------|------|------|
| 井口泰孝 | 山本修 | 竹林政人 | 福島哲男 | 阿部孝悦 |
| 榎本善光 | 蛭沢勝男 | 三品克彦 | 工藤力 | 若挟正俊 |
| 高谷勝義 | 佐々木公雄 | 松坂洋司 | | |

八戸工業高等専門学校評議員・客員教授

| | | | |
|------------|----------------|------------|------------|
| 阿部貞一(評議員) | 大澤一實(客員教授・評議員) | 小野信一(評議員) | 坂本禎智(評議員) |
| 奈良岡修一(評議員) | 前田稔(評議員) | 山内隆(評議員) | 吉澤篤(評議員) |
| 竹内均(評議員) | 岡田治(客員教授) | 蛭沢勝男(客員教授) | 富沢知成(客員教授) |
| 正木耕一(客員教授) | 笹博(客員教授) | 熊谷輝(客員教授) | 堀内将人(客員教授) |
| 西秀記(客員教授) | 上平好弘(客員准教授) | | |

八戸工業高等専門学校名誉教授

歴代校長

| | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 穴山武(第4代) | 永井伸樹(第5代) | 柳沢栄司(第6代) | 井口泰孝(第7代) |
|----------|-----------|-----------|-----------|

名誉教授(カッコ内は授与年)

| | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 佐々木庄一(S.63) | 中木和彦(H.1) | 樋渡勝(H.5) | 穴山武(H.6) |
| 高山宗三(H.6) | 根来健夫(H.8) | 鶴田佳男(H.9) | 伊藤啓二(H.11) |
| 永井伸樹(H.12) | 三品克彦(H.12) | 葛西享治(H.13) | 加藤俊一(H.17) |
| 本田敏雄(H.17) | 野村秀世(H.17) | 柳沢栄司(H.18) | 福田廣夫(H.18) |
| 嶋野安雄(H.18) | 類家光雄(H.18) | 佐藤義夫(H.19) | 土岐泰教(H.20) |
| 野沢尚武(H.20) | 齊藤進(H.21) | 井口泰孝(H.23) | 佐藤勝俊(H.23) |
| 浦西和夫(H.24) | | | |

八戸工業高等専門学校同窓会(カッコ内は学科及び卒業期)

| | | | |
|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 山本修(会長・M12) | 大久保博祥(副会長・E10) | 松坂洋司(副会長・C9) | 北山一衛(副会長・Z14) |
| 山本喜之(理事・M9) | 能登金文(理事・M14) | 最上裕治(理事・M19) | 工藤力(理事・E2) |
| 坂上福松(理事・E4) | 新山清巳(理事・E7) | 若挟正俊(理事・C3) | 兔内辰夫(理事・C18) |
| 大坂弘二(理事・C23) | 澤田美智明(理事・Z5) | 大久保光芳(理事・Z7) | 北城祐司(理事・Z13) |
| 川口恵未(会計・C34) | 田村博美(監査・E8) | 井上美壽穂(監査・M16) | 葛西太生(支部長・Z11) |
| 戸田和孝(支部長・E8) | 村田明彦(支部長・M9) | 船木貢二(評議員・M5) | 赤垣友治(評議員・M10) |
| 能登金文(評議員・M14) | 黒沢忠輝(評議員・M22) | 川崎孝悟(評議員・M28) | 小野耕太郎(評議員・M32) |
| 宮川卓(評議員・M35) | 細越淳一(評議員・E5) | 松橋信明(評議員・E12) | 滝本一男(評議員・E18) |
| 荒沢義博(評議員・E22) | 売井坂常幸(評議員・E32) | 馬場拓美(評議員・E37) | 大前利夫(評議員・C4) |
| 杉山和夫(評議員・C5) | 沼館秀広(評議員・C12) | 米塚弘敏(評議員・C16) | 榎本潮(評議員・C27) |
| 山水さつき(評議員・C30) | 赤澤敏樹(評議員・C34) | 有馬正史(評議員・Z5) | 大川需(評議員・Z19) |
| 荒谷裕志(評議員・Z20) | 吉田智成(評議員・Z28) | 高杉奨(評議員・Z31) | 山道泰隆(評議員・Z31) |
| 加々美民人(相談役・M1) | 榎本善光(相談役・C1) | 高谷勝義(相談役・M4) | |

八戸工業高等専門学校後援会

| | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 竹林政人(会長) | 工藤道代(副会長) | 母良田健(副会長) | 上平千恵子(監事) |
| 向山浩子(監事) | 鳥谷部隆(監事) | 市川基明(顧問) | 荒川傳一(顧問) |
| 岩間俊三(顧問) | 小湊清美(顧問) | 上野輝彦(顧問) | 中嶋昭弘(顧問) |

八戸工業高等専門学校産業技術振興会

| | | | |
|----------|-----------|----------|------------|
| 福島哲男(会長) | 増子次郎(副会長) | 今誠康(副会長) | 日比野良彦(副会長) |
|----------|-----------|----------|------------|

八戸高専創立50周年記念事業 クラス幹事

機械工学科

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| M 1 | 天宮 | 坂本 | 格佳 | 郎悦 | M17 | 福三 | 田浦 | 和和 | 忠英 | M33 | 守小 | 野原 | 浩英 | 章俊 |
| M 2 | 宮野 | 本野 | 佳野 | 悦野 | M18 | 最上 | 上藤 | 裕上 | 治陽 | M34 | 大笠 | 池沢 | 大真 | 知一 |
| M 3 | 浅野 | 野田 | 田村 | 定逸 | M19 | 佐藤 | 沢名 | 正忠 | 紀輝 | M35 | 滝河 | 原田 | 豊正 | 和道 |
| M 4 | 高西 | 谷山 | 勝達 | 義夫 | M20 | 三小 | 沢上 | 康賢 | 太二 | M36 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 佑三 |
| M 5 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M21 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 純徳 | M37 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 史幸 |
| M 6 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M22 | 三小 | 名上 | 賢二 | 徳徹 | M38 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 啓磨 |
| M 7 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M23 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M39 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M 8 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M24 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M40 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M 9 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M25 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M41 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M10 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M26 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M42 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M11 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M27 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M43 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M12 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M28 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M44 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M13 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M29 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M45 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M14 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M30 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | M46 | 庭富 | 田山 | 晃悟 | 也 |
| M15 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M31 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | | | | | |
| M16 | 高西 | 橋内 | 秀弘 | 夫美 | M32 | 佐小 | 名上 | 賢二 | 博一 | | | | | |

電気工学科・電気情報工学科

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|
| E 1 | 千工 | 葉藤 | 和男 | 力保 | E17 | 川瀧 | 端本 | 清一 | 勝男 | E33 | 三三 | 浦田 | 匡正 | 夫志 |
| E 2 | 工佐 | 藤藤 | 和男 | 保志 | E18 | 中庭 | 村庭 | 一信 | 男行人 | E34 | 小澤 | 田藤 | 篤大 | 志輔 |
| E 3 | 佐豊 | 越本 | 博淳 | 志一 | E19 | 秋中 | 庭村 | 信博 | 宏博 | E35 | 佐馬 | 場後 | 拓正 | 美太 |
| E 4 | 豊細 | 越本 | 淳新 | 一勉 | E20 | 中庭 | 庭村 | 和義 | 博介 | E36 | 馬越 | 後浜 | 智達 | 明彦 |
| E 5 | 細坂 | 本村 | 新一 | 幸子 | E21 | 西向 | 沢館 | 圭誠 | 仁二 | E37 | 松安 | 林田 | 優良 | 太 |
| E 6 | 坂田 | 山田 | 正玲 | 子昇 | E22 | 向八 | 井井 | 勇賢 | 治一 | E38 | 高屋 | 山山 | 良良 | 太郎 |
| E 7 | 青山 | 山村 | 一信 | 秋秋 | E23 | 桜森 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E39 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E 8 | 山中 | 村村 | 一信 | 秋秋 | E24 | 森安 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E40 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E 9 | 山中 | 村村 | 一信 | 秋秋 | E25 | 安中 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E41 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E10 | 山中 | 村村 | 一信 | 秋秋 | E26 | 松居 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E42 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E11 | 木松 | 村村 | 一信 | 秋秋 | E27 | 居坂 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E43 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E12 | 秋屋 | 橋濱 | 一信 | 秋秋 | E28 | 井坂 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E44 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E13 | 秋屋 | 橋濱 | 一信 | 秋秋 | E29 | 井坂 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E45 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E14 | 猪股 | 敷守 | 一信 | 秋秋 | E30 | 井坂 | 田田 | 祐光 | 伸子 | E46 | 高屋 | 山山 | 悠太 | 怜平 |
| E15 | 猪股 | 敷守 | 一信 | 秋秋 | E31 | 井坂 | 田田 | 祐光 | 伸子 | | | | | |
| E16 | 猪股 | 敷守 | 一信 | 秋秋 | E32 | 井坂 | 田田 | 祐光 | 伸子 | | | | | |


工業化学科・物質工学科

| | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|
| C 1 | 橋本 | 洋一 | 一美 | C17 | 菊地 | 昭章 | C33 | 山川 | 本口 | 步未 |
| C 2 | 若大 | 久正 | 俊俊 | C18 | 長谷 | 秀秀 | C34 | 川三 | 浦浦 | 典典 |
| C 3 | 若大 | 正利 | 俊俊 | C19 | 小笠 | 保保 | C35 | 三月 | 館館 | 子子 |
| C 4 | 若大 | 利愛 | 俊俊 | C20 | 佐々 | 久進 | C36 | 高鬼 | 橋柳 | 樹樹 |
| C 5 | 若大 | 愛邦 | 俊俊 | C21 | 佐々 | 進二 | C37 | 袴大 | 田丸 | 俊功 |
| C 6 | 若大 | 邦隆 | 俊俊 | C22 | 三三 | 二彦 | C38 | 袴大 | 丸上 | 功功 |
| C 7 | 若大 | 隆明 | 俊俊 | C23 | 大林 | 市潮 | C39 | 袴大 | 本中 | 太み |
| C 8 | 若大 | 明洋 | 俊俊 | C24 | 松下 | 徹郎 | C40 | 袴大 | 村田 | 樹樹 |
| C 9 | 若大 | 克義 | 俊俊 | C25 | 松榎 | 市郎 | C41 | 袴大 | 畑北 | 摘摘 |
| C10 | 若大 | 越賀 | 俊俊 | C26 | 井山 | 夏基 | C42 | 袴大 | 畑北 | 摘摘 |
| C11 | 若大 | 賀田 | 俊俊 | C27 | 山相 | 成弘 | C43 | 袴大 | 畑北 | 摘摘 |
| C12 | 若大 | 田山 | 俊俊 | C28 | 相松 | 成弘 | C44 | 袴大 | 畑北 | 摘摘 |
| C13 | 若大 | 山村 | 俊俊 | C29 | 相松 | 成弘 | C45 | 袴大 | 畑北 | 摘摘 |
| C14 | 若大 | 村守 | 俊俊 | C30 | 相松 | 成弘 | C46 | 袴大 | 畑北 | 摘摘 |
| C15 | 若大 | 守塚 | 俊俊 | C31 | 相松 | 成弘 | | | | |
| C16 | 若大 | 塚弘 | 俊俊 | C32 | 相松 | 成弘 | | | | |

土木工学科・建設環境工学科

| | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|
| Z 1 | 類石 | 家橋 | 章義 | Z15 | 館高 | 花橋 | 正義 | Z29 | 宮工 | 川藤 | 志樹 |
| Z 2 | 石松 | 橋川 | 純二 | Z16 | 小上 | 橋泉 | 弘昭 | Z30 | 山千 | 藤道 | 樹隆 |
| Z 3 | 松板 | 川橋 | 則則 | Z17 | 高小 | 泉館 | 昭正 | Z31 | 山千 | 道葉 | 弘也 |
| Z 4 | 板澤 | 橋田 | 惇明 | Z18 | 上大 | 川名 | 昭正 | Z32 | 山千 | 野田 | 也樹 |
| Z 5 | 澤後 | 田村 | 智明 | Z19 | 大姥 | 名田 | 正幸 | Z33 | 山千 | 沙和 | 秀秀 |
| Z 6 | 後大 | 村保 | 智明 | Z20 | 姥山 | 田村 | 幸卓 | Z34 | 山千 | 和辰 | 典典 |
| Z 7 | 大岩 | 谷保 | 智明 | Z21 | 山柏 | 邊村 | 卓之 | Z35 | 山千 | 辰沙 | 憲憲 |
| Z 8 | 岩森 | 谷保 | 智明 | Z22 | 柏澤 | 橋口 | 博積 | Z36 | 山千 | 沙昂 | 貴貴 |
| Z 9 | 森村 | 上西 | 智明 | Z23 | 澤石 | 道中 | 一美 | Z37 | 山千 | 昂翔 | 太希 |
| Z10 | 村葛 | 浦城 | 智明 | Z24 | 石樋 | 島勝 | 美也 | Z38 | 山千 | 翔美 | 希 |
| Z11 | 葛三 | 城橋 | 智明 | Z25 | 樋田 | 勝美 | | Z39 | 山千 | 美 | |
| Z12 | 三北 | 橋敏 | 智明 | Z26 | 田豊 | | | Z40 | 山千 | | |
| Z13 | 北石 | 橋敏 | 智明 | Z27 | 田豊 | | | Z41 | 山千 | | |
| Z14 | 石橋 | 橋敏 | 智明 | Z28 | 田豊 | | | | | | |

創立50周年記念事業に関するお問い合わせ先

独立行政法人 国立高等専門学校機構
 八戸工業高等専門学校 総務課

〒039-1192 八戸市大字田面木字上野平16-1

TEL. 0178-27-7223 FAX. 0178-27-9379 E-mail. 50th@hachinohe-ct.ac.jp

www.hachinohe-ct.ac.jp

創立50周年記念事業のロゴマークは、
 本校学生 井畑貴悠紀君のデザインを
 基にしたものです。

